



**気が強い女子アナウンサーが
屈辱に耐えられなくなるまで
セクハラ編**

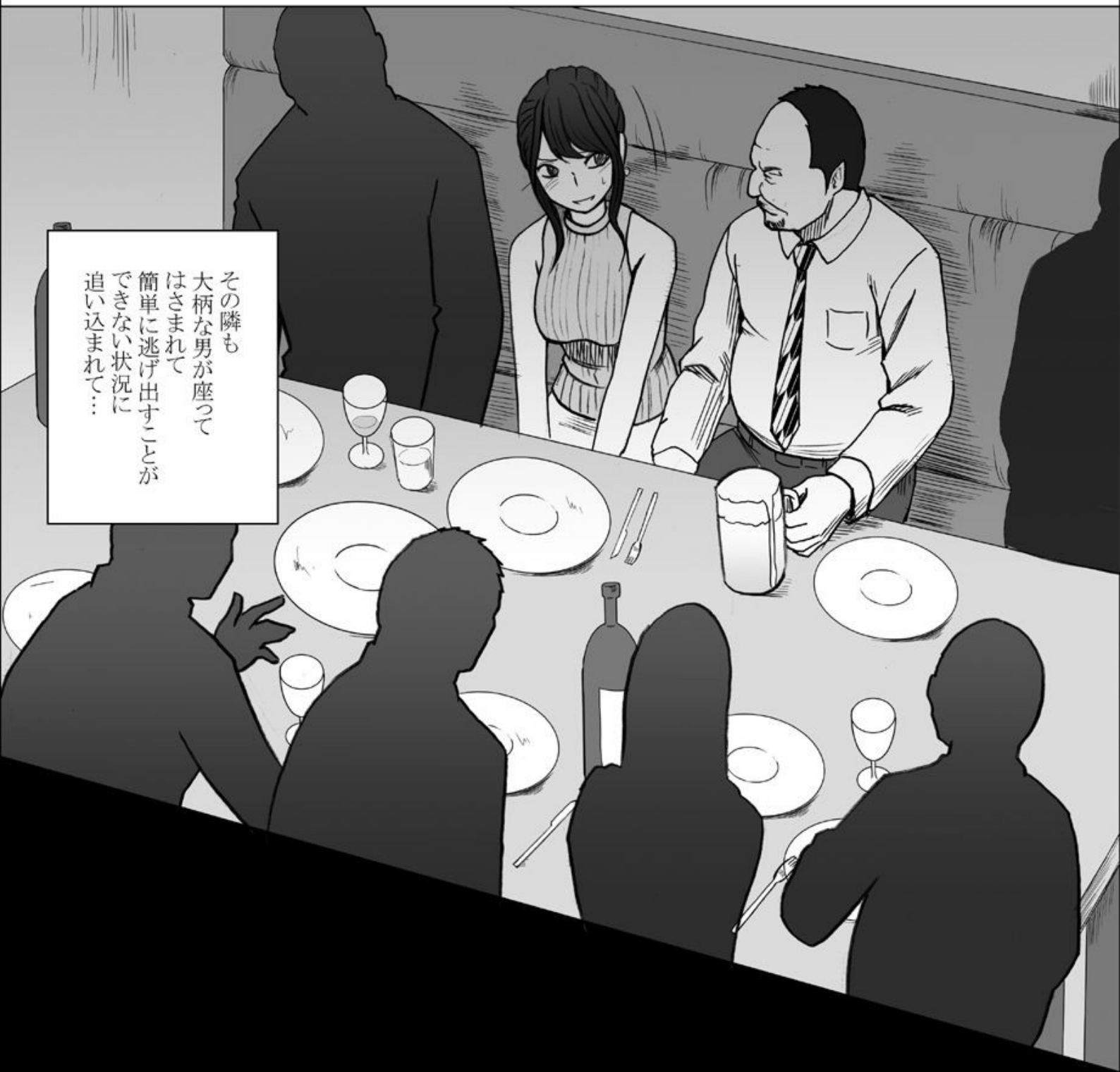
**気が強い女子アナウンサーが
屈辱に耐えられなくなるまで**

セクハラ編



先輩たちに
無理矢理
店の中に押し込まれた
宇佐美は

個室に入るなり
当然のごとく
鬼瓦社長の隣に
座らされ



その隣も
大柄な男が座って
はさまれて
簡単に逃げ出すことが
できない状況に
追い込まれて…



やあやあ
よく来てくれたね
宇佐美子ちゃん

なんか今日は
いつもより
かわいいね〜♪

あ…はい

またお誘いしてくれて
嬉しいです♪

ああ…

ダメだ…!!

キキキ



なんとか
うまく
やりまじまじか…!!



クイブで

全身を媚薬クリームで
敏感な状態にされて

アソコには
妖しいカプセルを
入れられて…

こんな状態で
セクハラされたら
絶対にまずい!!

飲み会の
開始から
20分

何とか
セクハラを
いなし続けた
宇佐美だったが…

今日は
触らせてくれる？

フフフ…
相変わらず
おっぱいも大きいねえ

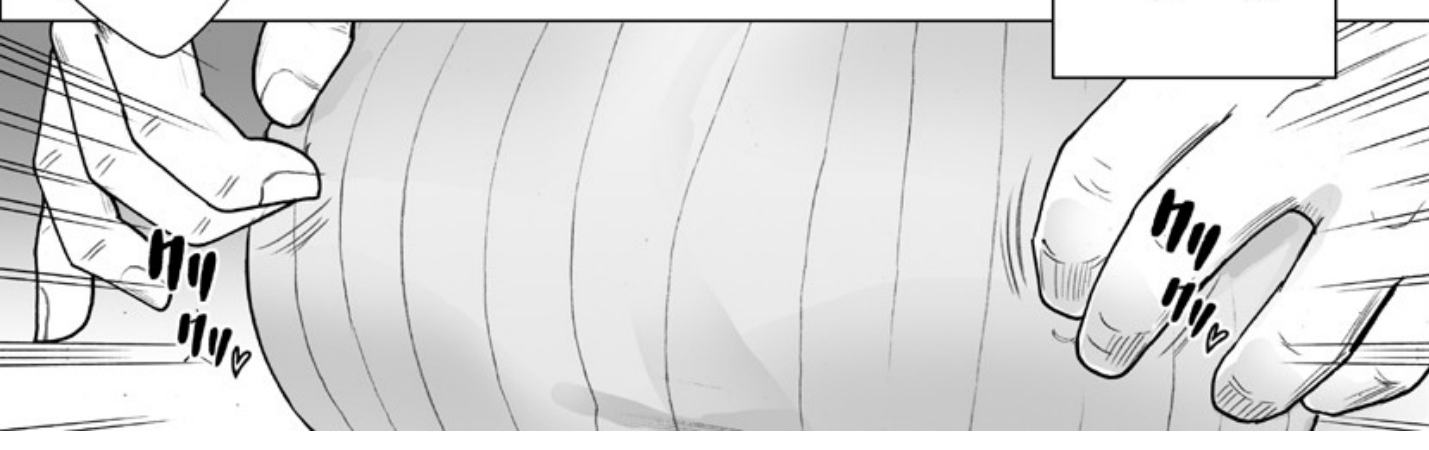
あ…あの
社長…
飲みすぎですよ？

ダメです！
ダメですって！

もう…！

酔いが回ってきた
鬼瓦の勢いを
抑え続けることは
出来ず…

いいでしょ
ちょっとだけ…ね？





びんぽんぽん

ん?
あれあれ?

今
もしかして
感じちゃってる?

しゅわん

すっ♡
すっ♡

すっ♡
すっ♡

ち…違います!

違いますから!

クワリムの効果が
全然消えてない

さっきまで
やられてたヘンな
グッズ

あなたみたいな
ナマイチな子を
しつめるのにいい
クワリムがあるのよ

それどころか
さっきよりも
熱くなってる…!

じゅあ...

乳首が敏感なままで…!!





ちよっと
触られただけで
こんなに…!!

ダメだ…!!

くっ…!!



乳首の先から
頭の後ろ側に快感が
走って…!!

反応が
抑えられない…!!

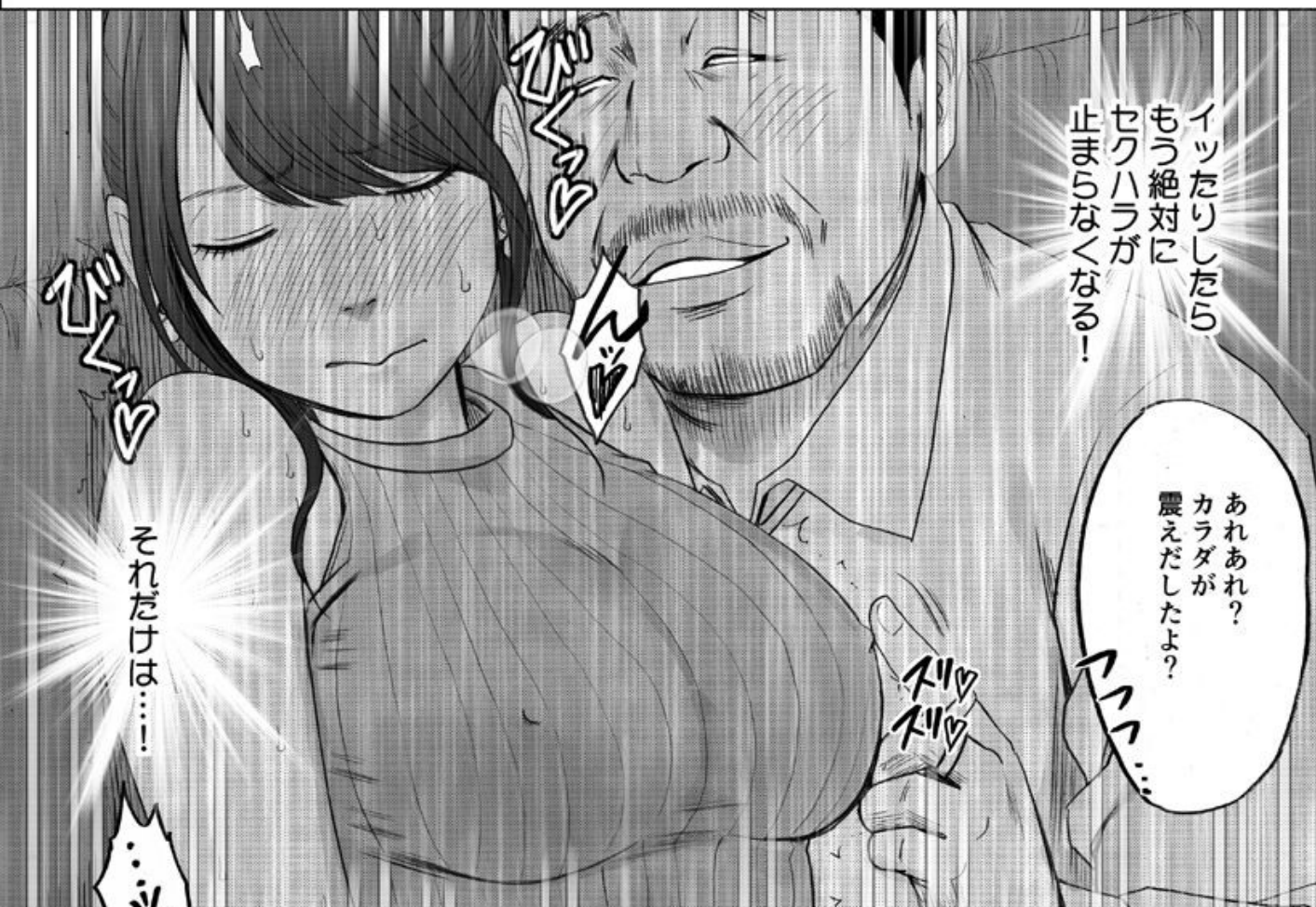
反応しちゃったら
こいつを
喜ばせるだけなの!!

びんびん

びんびん

びんびん

びんびん



実際は
凶悪なまでの
快感に襲われて

絶頂をガマンすることは
不可能だった



だからせめて
イッたことを
悟られないように

本当に今日は
どうしちゃったの？

今日は
ノリノリだねえ？

ていうか
宇佐美ちゃんって
こんなに感じやすかった
んだね？

反応を極力
おさえること

それしかできなかった





当然
鬼瓦社長のセクハラが
止むことはなく

会食の時間中
ずっと

恥ずかしい部分を
責められ続けて



誰も止めることはなく



もちろん
他の参加者も
いきすぎたセクハラに
気づいてはいるものの



反応を
抑え込めない...!

もう...
限界...!



イク...!

イク...!

フル
フル

声が...出る!





そんなに
痙攣して…
体調でも
悪いのかな？

フッフ…

社長
何かヘンなこと
しちゃったんじや
ないですか？

ニヤヤ



あれあれ？

どうしちゃったの
宇佐美ちゃん



ダメだ…！
このままじゃ…！

フッフ…

いやいや
何も悪いことは
してないよ？

お疲れの
宇佐美ちゃんを
マッサージして
あげただけだから
ねえ？

一度
この場を離れないと…！



このままでは
もう駄目だった



おお
スマンスマン

トイレに
行きたかったのか

ニヤヤ



お願いします
お手洗いに
行かせてください…

こんな状態では
どこまでされるのか
分からない

だから

トイレに行くふりをして
そのまま逃げるつもり
だった

でも

鬼瓦社長は
トイレの中まで
ついてきて…

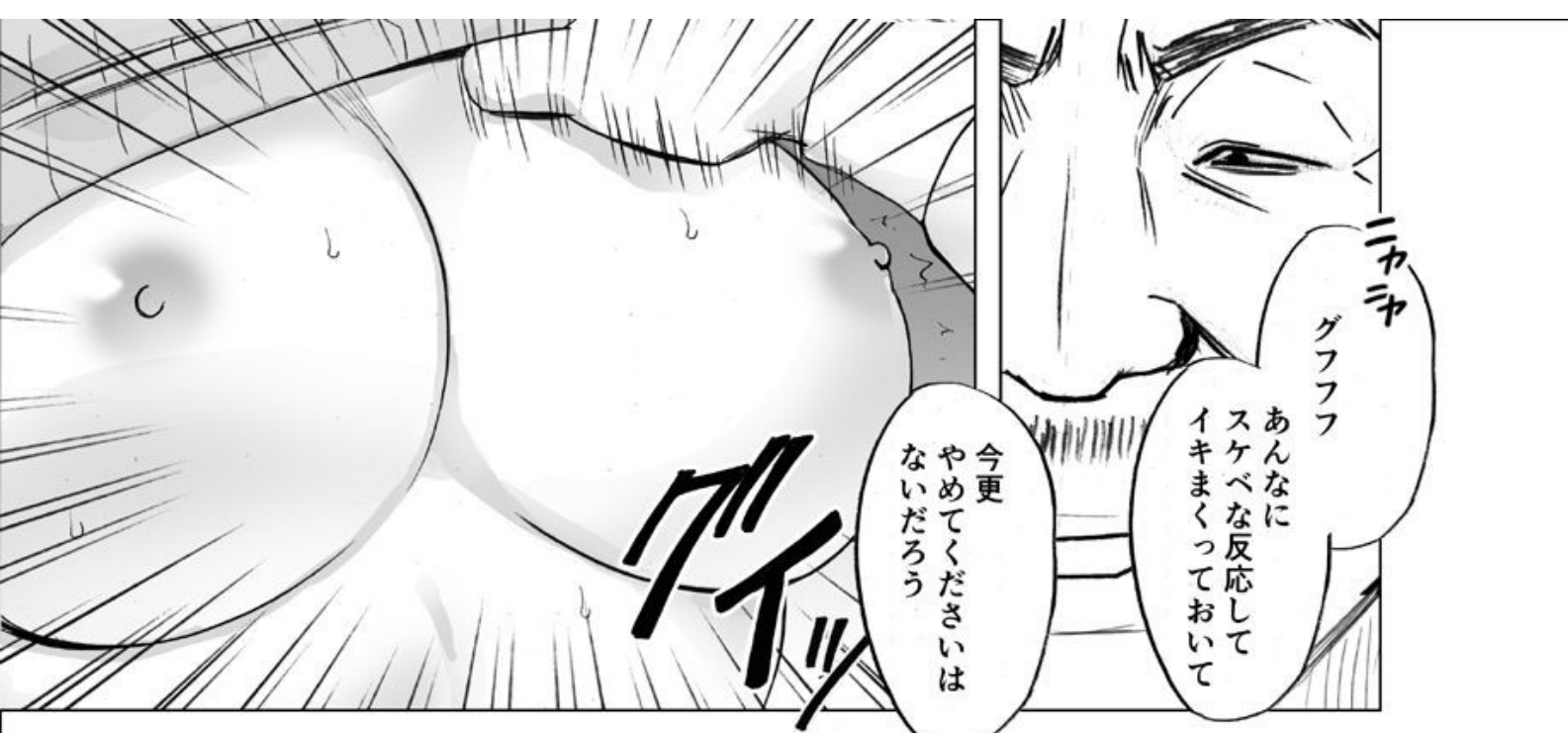
ウフフ
他の人の目に
つかないところで

続きを
したかったんでしょう？
ねえ？

ち…
ちがいます…!!

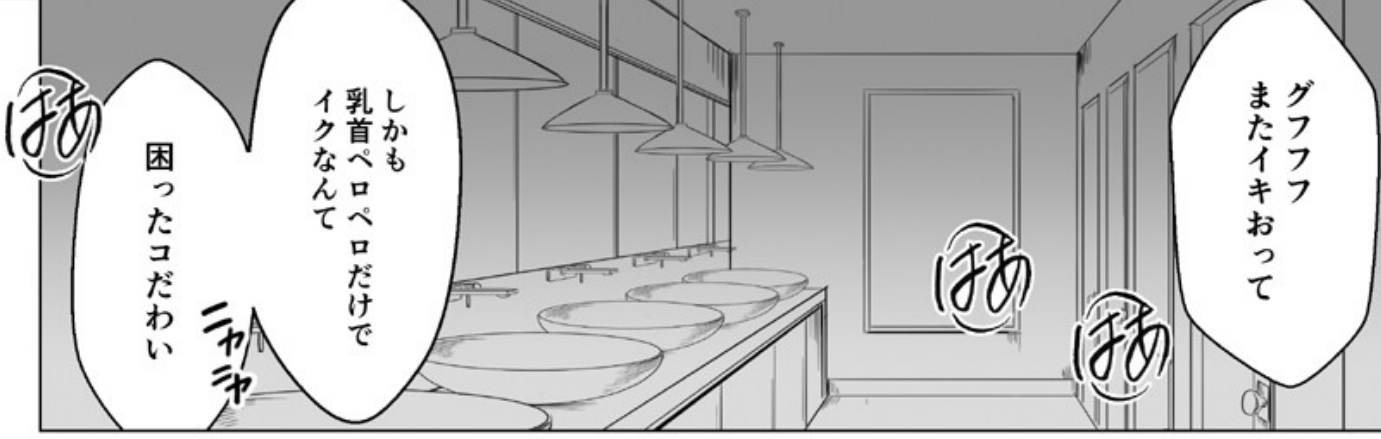
や…やめて
ください…!!

本当に…もう…!!









グフフフ
またイキおって

ほあ

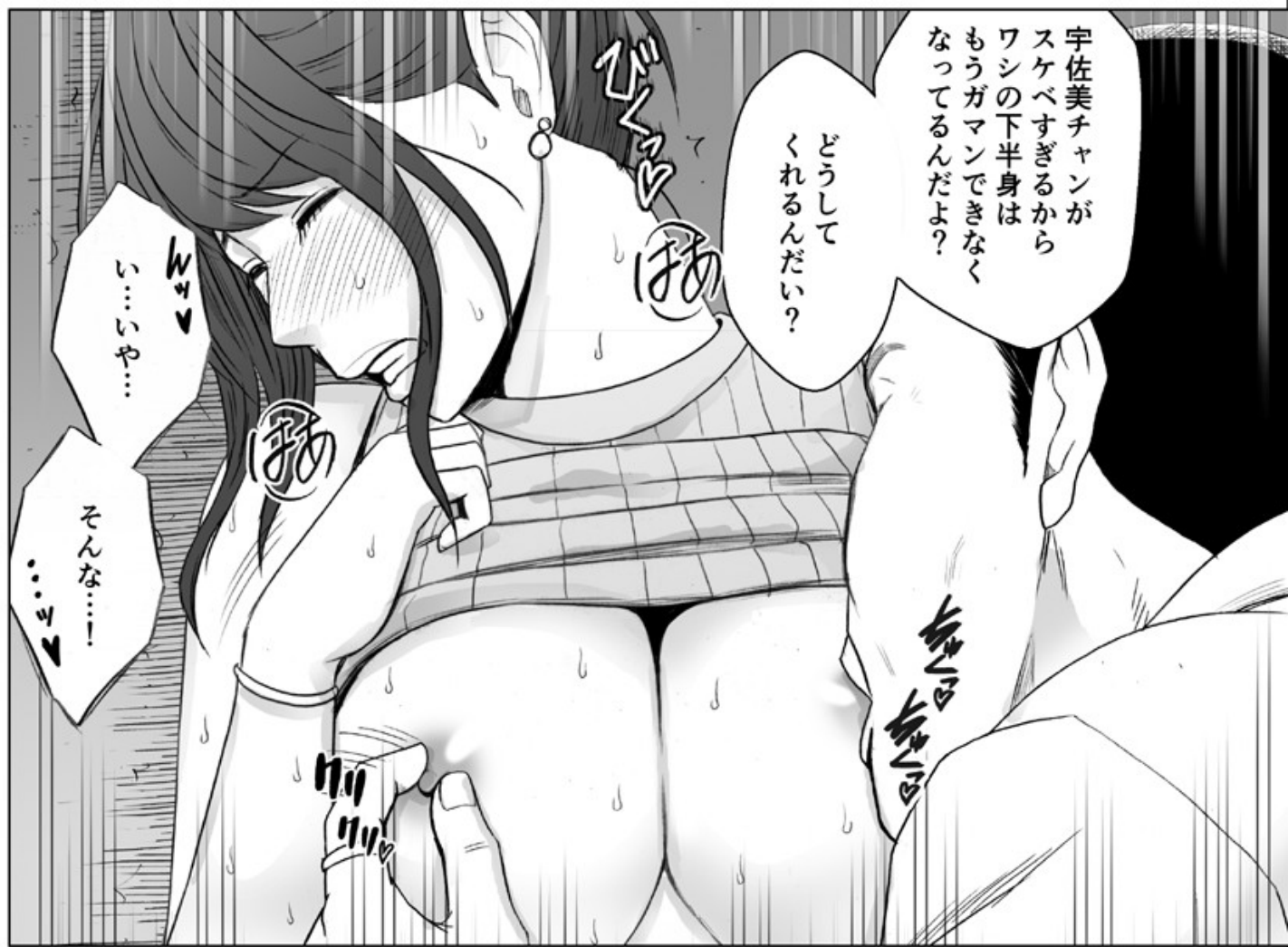
ほあ

しかも
乳首ペロペロだけで
イクなんて

困ったコだわい

ニャニャ

ほあ



宇佐美チャンが
スケベすぎるから
ワシの下半身は
もうガマンできなく
なってるんだよ?

どうして
くれるんだい?

びびびび

ほあ

ニャニャ
ら...らや...

そんな...!!

ニャニャ

ニャニャ

ニャニャ



.....!

ドキッ



じゃあ
このまま
ホテルに行くか?

それとも
ここで
しゃぶるか?

どちらかを
選びなさい

ニャニャ

ホテルになんか
行ったら

もう本当に
逃げられなくなる……!!

最後まで
絶対にイヤ……!!

最後までされるよりは……
まだ……!!

くっくっ
じきに終わるのなら……!!

グフフ……
いいユダ

まだ
そのほうが……!!



グフフ
イイ子だ

アナウンサーに
口してもらうのは
たまらんな

ほ…本当に
これで

これ以上は
許してもらえ
ますか？



ああ
もちろん

ちゃんと
しゃぶってくれたらな

何で…!

何で私が
こんなことを…!

こんなつもりじゃ
なかったのに…!





え...!
そんな...!

グッ
グッ

いやっ...!
待って! そんな!

グッ

グッ



グフフフ

ようやく
本気になってきたかな?

おっと
吸い上げるようにな?

そんなこと
言われても
私...!

やり方とか
良く分からないし...!

グッ

ああ…!
ダメ…!

……
……
……

……
……
……

……
……
……

グ
グ



残念
一分たったぞ？

ちゃんと
フェラしなかった
お仕置きとして

バツ

下のクチで
くわこんでもらおうか

ドキッ

さ...さー...

アッ



さすがに
広告代理店の社長だからって

ここまで
されるのは絶対にイヤ！

好きでもない人に
体を許すなんて
絶対にイヤ！

本気で……！

本気で抵抗すれば……！

本気で抵抗すれば
まだ何とかなる

グッ

疲れ切った
カラダに
残された
最後の力を
振り絞った

その時に……!





時限爆弾が爆発してー



あのとき

車の中であの女に
しこまれた

会食中
感じたりしないよう
気を付けなきゃね♪

不意に襲ってきた
快樂の波に

意識を
さらわれている間に



いぢ……

もう
何が起ってるのか
分からない……!

頭がずっと
真っ白になったままで！

やめてくださいって
言おうと思ってるの……!

声にだすことさえ
できない！

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン



チ●ポをくわえこんだ瞬間にイクなんて

宇佐美チャンがこんなスケベなコだったなんて知らなかったよ

もっと早く言ってくれば

ワシがたっぷり可愛がってあげたのに

宇佐美チャンはイヤだけどカラダは反応しちゃうDMタイプなのかな？



今まで
あの手この手で
新人アナウンサーたちを
モノにしてきたけど

強引に入れて
初回からこんなに
キモチよさそうに
する女は初めてだぞ？

ムー...ムー...

メチャクチャ言わねえ...

何も出来ない！

悔しSON...!

悔しSON...!

グッ
グッ

カラダが…
言っことを聞いてくれない！





こうなったのも
全部……!

あいらのせい……!



許さない!

許さない!



許さない!

絶対いつか……!

ほら?
気持ちいいか?
どうだ?

いやっ……!
気持ち……よくなんて……!

はっ

はっ
はっ



びんぼん

あの女を引きずりおろすためなら

グッ
グッ
グッ

びんぼん

……

何だ……!!

おお?
どうした?
急に積極的に
なってきたじゃないか?

やっぱり気持ち
良くなってきたの
かな?

グッ
グッ

グッ
グッ



……ッ



このままこの男にとりついて
す…すみません
でした！

あの女を潰してやるー！

気持ちイイです！



ああ……!

本当は
こんなセリフ

言いたくなんて
ないのに……!

ニヤニヤ
欲しいのか?

このまま
ナマ中出して
欲しいのか?

本心なんかじゃ
ないのに……!

おお!

ようやく
素直になって
来たじゃないか?

フッフ……

びんびん

びんびん

びんびん



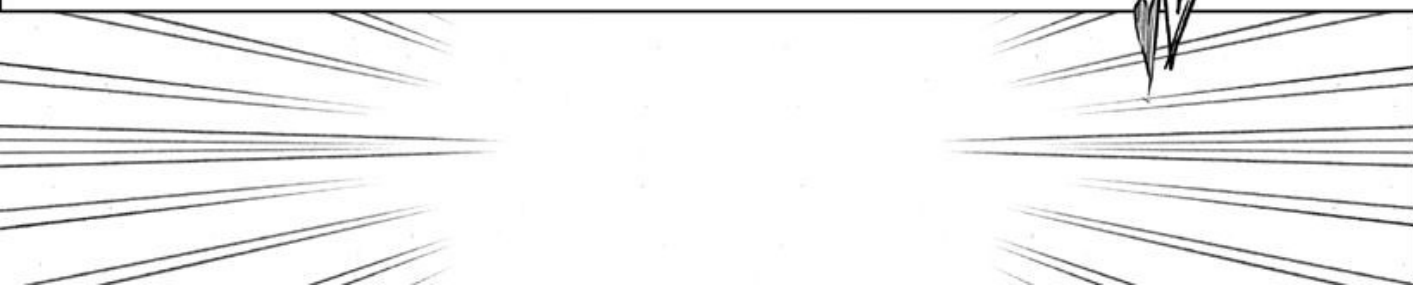
でも……!



調子に乗りやがって!!

くそ……!

びんびん





ズンズン

びしょ濡れ

何だっつて 耐えてやるー！

ズンズン

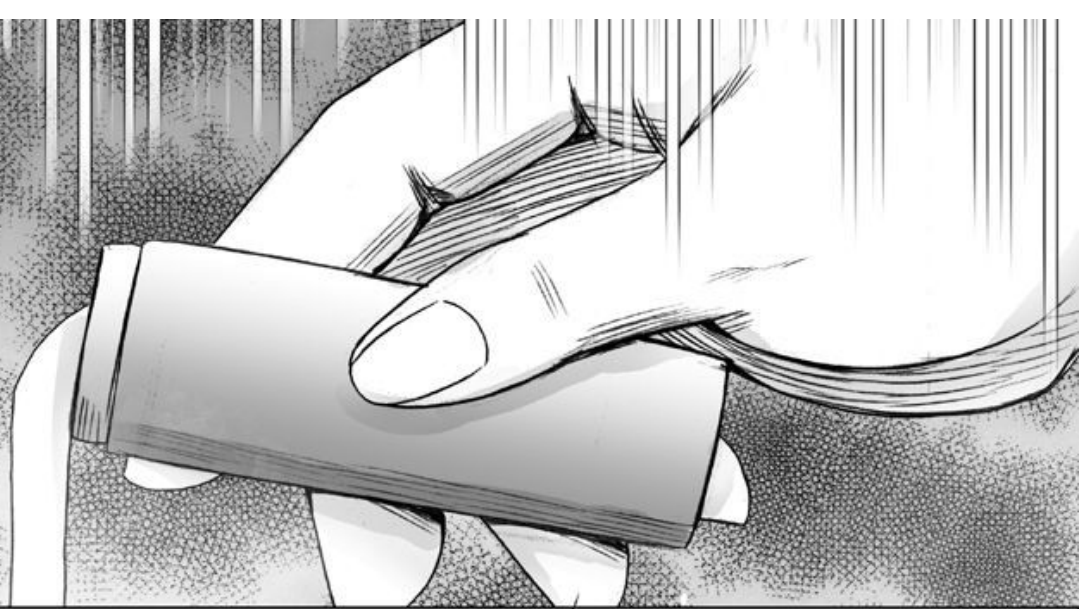
ズンズン

結局
宇佐美みくは
ホテルに
連れていかれて…

そこで
じつくりと
カラダを弄ばれて…



イヤでイヤで
しょうがない
下品で強欲な男に



オモチヤのように
扱われて






それでも
宇佐美みくは
耐え続けた

ヒロロでは
拒否し続けても

カラダで
最低な男の
欲望を受け入れて…





すべては
最も憎い女に
復讐するため……!

権力に取り入るため……!



どうだ？
また欲しいか？

ナカに出して
欲しいのか？

ほら
言ってみろ？

アナウンサーなら
はっきりと
自分の口で
どうして欲しいか
真実を
伝えてみなさい

VUNUN...!

びしょ

びしょ

VUNUN...!

びしょ

びしょ

びしょ

轟〜〜〜

轟

轟

轟

轟

轟

轟〜〜〜



轟

轟〜〜〜

轟

轟



あとがき

女子アナウンサー 宇佐美みくのお話の続編です。

今回のヒロインはクリムゾン作品としては珍しく男性キャラに対してある程度の敗北を認めている展開になっています。その分 女子アナのライバルに対しての対抗心を際立たせました。

今回のお話で一応 一区切りはついていますが続編の構想もあります。続編を描くなら とりあえず今回出てきた社長のペットとして弄ばれるシーンから描いていくことになると思います。そこからまたいろいろと展開していく感じです。

続篇ではなく 別のお話やオムニバスなどでまた宇佐美みくは描くかもしれません。



おまけ①

使いどころがわからなくなって
しまった絵。

私はページの順番に描くのではなく
気分によって描きたいシーンを
バラバラに描くため
たまに これはどこのシーンなんだ？
みたいな現象がおこります



おまけ②

つかいどころがわからなくなってしまった絵